

健康と光線

腎臓のはたらき

腎臓は腰の上後方の背骨の左右に一つずつ二個あり、心臓から送り出された血液の約四分の一が流入します。これを腎血流量と呼び、腎臓はこの血液を過して濾液から必要な成分を吸収して体液の組成を正常に保ち、水分の出納バランスや酸塩基平衡を調節し、蛋白代謝産物のクレアチニンや尿素のような老廃物を排泄する尿を生成する一方で、血圧を上昇させる物質（レニン）や造血を促す因子（エリスロポイエチノン）を分泌し、ビタミンDを活性化するという重要なはたらきをしています。

腎臓の主な病気と症状

腎臓の病気は検尿で蛋白尿を認めるので見付けるのは容易です。しかし腎臓の病気の厄介な点は両側の腎臓を侵し尿毒症の原因になることです。主要な病

気は免疫異常の糸球体腎炎、糖尿病から二次的に起こる糖尿病性腎症ですが、高血圧、痛風、膠原病、妊娠などで起こることもあります。また主に片側の腎臓の病気（腎盂腎炎など）が両側の腎臓に起ることもあります。

腎臓の病気と治療

—サナモアの併用効果について—

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

両側の腎臓が侵されると、腎血流量が低下して尿量が減り、尿中に排泄される水分や塩類（食塩、カリウムなど）が溜まつてもぐんだり、老廃物が体内に残るため、腎臓は腎血流量を増やそうとレニンを分泌し血圧が上がりります。

腎臓の病気の治療の中心

腎臓の病気の場合、原因の病気の治療や個々の症状に対応した薬が使われますが、腎臓の病

尿毒症と人工透析

腎臓の機能が30%以下に低下するすると腎不全と呼ばれます。が、特に病気で腎血流量が低下になると、尿量が減少し、尿中に排泄される老廃物が大量に体内に残り、循環器、呼吸器、神経・筋、消化器、血液、骨、皮膚などに多彩な症状を呈するようになり、尿毒症と診断されます。こうなると人工透析療法以外に救命する手立ては残されません。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322

腎臓の病気に対する サナモアの効果

腎臓の病気の治療は、腎血流量を増やし、腎臓に負担となる食事療法を制限して自力回復を促すことにあります。が、同時に

ところで尿毒症に対する人工透析療法は、患者を救命する唯一の治療法ですが、さまざま未知の合併症の存在が知られるようになりました。その一例として透析患者を苦しめ、有効な薬がない合併症に頑固なかゆみを訴える皮膚搔痒症があります。サナモアは透析患者の全身状態を良好に保ち、かゆみの予防、治療にも大変良く効きます。

(七・八面に関連記事)

迎
春

平成十四年 元旦

原因になる病気の治療が極めて重要です。殊に尿毒症の原因は以前は慢性腎炎が多かったのですが、近年、糖尿病性腎症が著しく増加しました。

サナモア光線療法は、自然の摂理にのっとって病気と闘う治療力を高めます。腎臓では腎血流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下して尿量が減少するような状況下では一層の利尿効果を認めます。あわせて糸球体腎炎の免疫

異常の抑制、糖尿病をはじめ二

次に腎不全から尿毒症を併発する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防

するため治療で重視され

るのもあります。

サナモア光線療法は、自然の

摂理にのっとって病気と闘う治

療力を高めます。腎臓では腎血

流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下

して尿量が減少するような状況

下では一層の利尿効果を認めま

す。あわせて糸球体腎炎の免疫

異常の抑制、糖尿病をはじめ二

次に腎不全から尿毒症を併発

する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防

するため治療で重視され

るのもあります。

サナモア光線療法は、自然の

摂理にのっとって病気と闘う治

療力を高めます。腎臓では腎血

流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下

して尿量が減少するような状況

下では一層の利尿効果を認めま

す。あわせて糸球体腎炎の免疫

異常の抑制、糖尿病をはじめ二

次に腎不全から尿毒症を併発

する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防

するため治療で重視され

るのもあります。

サナモア光線療法は、自然の

摂理にのっとって病気と闘う治

療力を高めます。腎臓では腎血

流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下

して尿量が減少するような状況

下では一層の利尿効果を認めま

す。あわせて糸球体腎炎の免疫

異常の抑制、糖尿病をはじめ二

次に腎不全から尿毒症を併発

する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防

するため治療で重視され

るのもあります。

サナモア光線療法は、自然の

摂理にのっとって病気と闘う治

療力を高めます。腎臓では腎血

流量を増やして利尿を促します

が、特に病気で腎血流量が低下

して尿量が減少するような状況

下では一層の利尿効果を認めま

す。あわせて糸球体腎炎の免疫

異常の抑制、糖尿病をはじめ二

次に腎不全から尿毒症を併発

する病気の治療に効果がありますので、腎臓の合併症を予防

するため治療で重視され

るのもあります。

一病 息災

一病 息災

五十肩(肩関節周囲炎)

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

五十肩は、加齢にともなう退行性変化が原因で、40～50歳代にかけて、明らかなきっかけもなく発症し、肩の痛みと運動障害を生じ、多くは、数年で自然に治る疾患で、肩関節周囲炎と呼ばれます。筋肉や腱などの組織は、長期間の不動または使いすぎにより、伸縮性の減少や萎縮など、組織上の変化を生じます。

すが(退行性変化)、五十肩は、このような退行性変化を基盤として発症し、関節包や滑膜、腱や腱板など肩関節周囲の組織に生じる炎症性疾患と言えます。特に、肩の回旋を行う筋肉の腱が集まって作る腱板や、力こぶを作る上腕二頭筋の腱は、肩関節の運動時に圧迫や摩擦を受けます。筋肉や腱などの組

主な自覚症状は、徐々におきる肩の痛みで、だるい、重いとあらゆる方向に制限されます。特に、腕を回す、髪を結う、腰の後ろでひもを結ぶ、背中をかくといった動作が困難となり、重症例では、癒着と痛みのため関節の動きが制限され、肩関節がほとんど動かせなくなる場合もあります(凍結肩)。

現在、五十肩で日常生活に不自由を感じている方は、ぜひ、関節拘縮が起きる前の早期の段階から、サナモア光線療法をお勧めします。

症例：59歳、女性

主訴：右肩関節周囲の痛み。右上肢挙上困難。

起始・経過：4年前に一度五十肩(肩関節周囲炎)と診断されたが、この時は、約1か月で痛みは軽快した。以後、右肩周囲が重く感じられることがあったが、本年2月、再び、右肩周囲の痛みが増強。歩行時にも肩に響くような強い痛みを自覚し、上肢の挙上が困難となつた。初診時、右上肢の可動域は、約45度外転できる程度であった。

治療：①左側臥位にて30分、4灯照射を施行。右肩甲骨付近から頸部にかけて(BB)照射し、同時に腹部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)にも照射。

②座位にて20分、右肩を前後からはさむように、2灯で照射(BD)した。なお、治療終了前に関節拘縮予防のため、上肢の挙上訓練を施行した。

経過：5回治療施行した頃から、徐々に歩行時に認められた肩に響くような痛みは軽くなり、肩関節の可動域は拡大され、上肢を肩と水平の高さまで挙上可能となった。12回終了時点では、痛みは軽くなり、日常の活動範囲も広がってきた。16回終了時には、上肢の挙上がり、肩の高さ以上まで可能となり、今までできなかつた布団の上げ下ろしも可能となった。

病気と光線療法

五十肩の治療は、肩関節周囲の組織の炎症を抑え、痛みを和らげるとともに、関節拘縮を予防することになりますが、サナモア光線療法は、この治療目標に適した療法と言えます。実際の効果は、治療前後で、上肢がどの高さまで挙上できるかを比較すると明らかで、治療後には、今まで手の届かなかつた箇所に手が届くようになり、その効果を実感できます。この様な関節可動域の拡大が、治療直後より見られる理由は、サナモア光線療法には、消炎鎮痛効果の他に、関節を構成する組織全体の血液循環を改善し、筋肉の柔軟性を著しく向上させる作用があるからです。また、慢性期には、関節の拘縮を予防することが重要とによって、関節拘縮を予防することが可能となります。

五十肩の治療は、肩関節周囲の組織の炎症を抑え、痛みを和らげるとともに、関節拘縮を予防することになりますが、サナモア光線療法は、この治療目標に適した療法と言えます。実際の効果は、治療前後で、上肢がどの高さまで挙上できるかを比較すると明らかで、治療後には、今まで手の届かなかつた箇所に手が届くようになり、その効果を実感できます。この様な関節可動域の拡大が、治療直後より見られる理由は、サナモア光線療法には、消炎鎮痛効果の他に、関節を構成する組織全体の血液循環を改善し、筋肉の柔軟性を著しく向上させる作用があるからです。また、慢性期には、関節の拘縮を予防することが重要とによって、関節拘縮を予防することが可能となります。

五十肩の治療は、肩関節周囲の組織の炎症を抑え、痛みを和らげるとともに、関節拘縮を予防することになりますが、サナモア光線療法は、この治療目標に適した療法と言えます。実際の効果は、治療前後で、上肢がどの高さまで挙上できるかを比較すると明らかで、治療後には、今まで手の届かなかつた箇所に手が届くようになり、その効果を実感できます。この様な関節可動域の拡大が、治療直後より見られる理由は、サナモア光線療法には、消炎鎮痛効果の他に、関節を構成する組織全体の血液循環を改善し、筋肉の柔軟性を著しく向上させる作用があるからです。また、慢性期には、関節の拘縮を予防することが重要とによって、関節拘縮を予防することが可能となります。



サナモア便り

十一月に東京にて開講しました。

今回は、福岡、京都、愛知から
の参加者を含め七名でしたが、
治療院の開業を間近に控えた方
が多かつたためか、本題時間こ

宇都宮正範

間の講座を無事終えることができました。今春以降も引き続き、春と秋の二回、治療師養成講座を開講する予定でいますので、すぐには開業予定のない方でも、光線療法について勉強したいというお考えをお持ちでしたら、是非、ご参加下さい。

第八回 「光と熱研究会」の お知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のサナモアご愛用者の方も是非
ご参加下さい。なお参加は無料

日時 .. 一月十九日(土) 午後二時
場所 .. サナモア光線治療院

三階會議室

野島豊子先生
野島秀雄先生
(右)



(平成十三年十一月十日開院)
電話：〇四一四一三一七一三一
住所：西東京市谷戸町三一七一
二四
ひばりヶ丘プラザ二〇三
交通：西武池袋線ひばりヶ丘駅

ひばりヶ丘治療院

（平成十三年十二月十日開院）

院長：野島豊子先生
一言：サナモア光線との出逢い
に恵まれ、大変うれしく
思っております。患者さ
んの声を聞き、明るく楽

◆募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サンモア光線治療院

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

第五期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講
前号でお知らせした第五期サ

ナモア光線治療師養成講座を、

日時 .. 一月十九日(土) 午後二時
場所 .. サナモア光線治療院

ご参加下さい。なお参加は無料です。

附錄三 (三)

院長…藤山悠紀子先生
一言…皆様の美と健康を高める

四

電話..〇五六八一三四一八二二
住所..愛知県春日井市如意申町
八一一三一四
交通..JR勝川駅からバスで十
分、如意申バス停下車徒
歩五分
院長..藤山悠紀子先生
一言..皆様の美と健康を高める
ためのお手伝いをさせて

第13回

日本療術学会から

広島県広島市・広島全日空ホテル
平成13年11月11日・12日

シンポジウム

首から上肢にかけての痛み



全療財団光線部門

代表司会人 宇都宮光明

頸肩腕痛の病因

首から上肢にかけての痛みは

頸肩腕痛と総称されるが、光線

治療では患部と関連部位への照

射が不可欠なため発症機序の鑑

別診断が求められる。

神経原性で頸椎の脊髄髄節の障害を伴う場合は、頸肩腕痛に

歩行障害や膀胱直腸障害を伴う

ことがあります。日常的に経験する

のは頸部脊椎症（変形性頸椎症）や頸椎椎間板ヘルニアである。頸肩腕痛の病因が第5頸神経から第1胸神経の神経根、5根の吻合で形成される腕神経叢、および上肢を支配する末梢神経の障害の場合は、障害部位から末梢の神経症状に血液循環障害に伴う症状を認める。これには神経が首の筋肉や第一肋骨と鎖骨の間や小胸筋の下で圧迫される胸郭出口症候群、手根管で圧迫される手根管症候群などがある。

関節原性の場合は、動作に伴い患部に局限した痛みを訴える。手を酷使する作業に従事する人の頸肩腕痛を狭義の頸肩腕症候群と呼び、筋肉や韌帯の疲労、血流障害、精神的な要因などが

関係するとされる。

即効性の鎮痛効果

頸肩腕痛の治療で真っ先に求

められるのは即効性の鎮痛効果である。光線療法の鎮痛効果は、患部とその関連部位に照射する

ことにより、赤外線の深達性の温熱作用で深部体温が上昇するに対応して血流が増して循環障害を改善し、発痛物質の吸収、排泄を促し、筋肉を弛緩させる。ことに加え、紫外線の光化学作用（光産物）による末梢血管拡張作用や可視線の物質代謝に及ぼす影響が加味されて発現する。

したがって鎮痛効果と患部への照射量との間にある程度の相関関係が成立する。すなわち痛みが激しいほど照射量、照射回数を増す必要があり、確実な鎮痛効果を得るためは照射時間を長くするとか治療器の台数を増やすとか治療法について工夫が必要になる。

治療を反復・継続することによる治療機転の促進

実際に頸肩腕痛の患者を一台の治療器で治療して確実な鎮痛効果を得るには、患部に最短でも30分以上、関連部位への照射時間を加えると合計1時間以上になることが多い。そのためサナモア光線治療院では四台から五台の治療器を用い、閉鎖空間内に熱気浴の原理を応用した多灯照射、すなわちルーフ式マルチアーチ療法と名付けた治療を実行しているが、光線療法に温熱療法の効果を加えることで全身の血行を最大限促すことが出来たため、患部の特定が困難な頸肩腕痛の場合でも即効性の鎮痛効果を得やすい利点がある。なお照射を始めてから一過性に痛みが増すことがあるが、患部の循環障害が改善する過程で見ら

れることが、継続して照射することで鎮痛効果が得られることが変わりはない。

結語

頸肩腕痛の患者は、文明の進

歩、それに伴う筋力の低下、人口の高齢化などさまざまな要因によって増加することは確実視されている。この頸肩腕痛に対する光線療法の有効性について述べた。

尿/毒/症/と/人/工/透/析/療/法

医学博士 宇都宮光明

尿毒症は腎不全の末期症状で、腎臓の機能が極度に低下した状態です。腎不全には急性腎不全と慢性腎不全がありますが、尿毒症になると、正常人では平均して1500 ml前後ある尿量が極端に減少し、乏尿(400 ml以下)とか無尿(100 ml以下)と呼ばれる状態になり、体内に余分な水分が溜まって強い浮腫(むくみ)を生じ、代謝産物の老廃物(尿毒素)が排泄されなければ命に関わります。このように排泄器としての機能を失った腎臓に代わって、人工的に水分の出納バランスを調整し老廃物を排泄して、血液の成分組成を正常化しようとする治

療法が人工透析療法で、人工腎臓を用いる血液透析と患者自身の腹膜を用いる腹膜透析(腹膜灌流)があります。

今回、体験記を寄稿して下さった尾崎氏は、医師から尿毒症の原因は慢性腎不全(慢性糸球体腎炎)と診断されています。人工透析療法を受けるきっかけになつたのは、腎臓が広範囲に侵され尿濃縮力が低下したのを補う代償性多尿の状態から無尿になり、体内に水分が貯留し、尿毒症の合併症の中でも重篤な肺水腫を起こして呼吸困難になつたためです。このように尿で水分の調整が出来ずに肺水腫を起させ、透析療法で水抜きするしか助ける術はなく一刻の猶予も出来ません。私は尾崎氏から発病の状況をお聞きして、透析以外に選択肢はなかったと思います。

尾崎氏は入院直後には血液透析を受けていますが、その後は今日まで患者自身の腹膜を用いる腹膜透析(腹膜灌流)の内、家庭で出来るCAPD(持続性可動的腹膜透析法)を行い社会

療法が人工透析療法で、人工腎臓を用いる血液透析と患者自身の腹膜を用いる腹膜透析(腹膜灌流)があります。

ところに透析療法で水を抜くため無尿が続き、患者は透析で抜け水の量との兼ね合いから水分摂取量をかなり厳しく制限され、腎臓移植以外に透析療法から離脱できないのが普通です。

ところで尾崎氏の場合、通常の透析患者の経過とは異なる点が多々あります。中でも透析療



青森県八戸市
尾崎弦司様 39歳

サナモア光線療法 体験記

法を始めてから一年以上を経た今日まで、利尿がついて1500 ml以上の尿が出ていることです。尿量が確保されているのですから、透析患者を悩ます水制限の必要はありません。寄稿文に添えら

れた検査成績の推移も予想以上の好結果です。また全身状態も良好であり、高率に合併し患者を苦しめる皮膚搔痒症も起こしていません。

私は過日、尾崎氏にお会いし

て頂きたいと思います。

で血液検査と尿検査をして帰宅する予定でした。しかし検査終了後、歩けなくなる位具合が悪くなり、それを見兼ねた内科の医師が至急検査を急いでくれて、その診断結果が肺水腫を併発した慢性腎不全という事で即日入院し、翌日からは一週間血液透析を行い、その後、腹膜透析に切り替え、約一ヶ月半の入院生活を余儀なくされました。入院してすぐ担当の泌尿器科の医師から、一生透析しなければならないとの宣告もされました。そ

れから時間が経過し退院までと一週間となつた頃、会社の同僚が見舞いに訪れてくれ、その際にサナモア光線療法の事を聞き、是非実施した方が良いとアドバイスしてくれました。退院後すぐに八戸市内のみちのく光線療法研究所の戸賀沢先生を紹介してもらい、それから約一年、毎日通院し、また平成12年12月下旬より光線治療器はつらつさん2号機を購入して自宅でも腹

<ページからつづく>

平成13年11月までの経過を見
ると、一番変化のあったのは尿
量で、退院直後は100cc以下であつ
たのが、今では1500cc以上の尿量
があります。入院直後から今年
の10月30日までの主な検査項目
の結果を表にしましたが、クレ
アチニンは入院直後16.4だったの
が、10月30日の検査で4.2まで下
がりました。尿素窒素は120から
41まで下がっています。更に赤
血球数は正常値まで回復しまし
た。そして腹膜透析液の排液が
以前よりもかなり透明度が増し
ています。また検査の結果の数
字が出てこない部分でも、体の
だるさ重さが退院直後から比べ
ればかなり改善され、10月中旬
頃より、尿に色と臭いがついて
くるようになり、仕事をする体
力も徐々に戻りつつあります。
光線治療開始以来、何度も宇
都宮光明先生に医療相談の時間
を頂き、経過を報告してきた折
に、「今後の検査の結果次第で
は腹膜透析を中断して様子を見
て良い段階まで来ているのでは」
との意見を頂きました。
以上がサンモア光線療法を一
年間行った現在までの状況です。
腹膜透析は一日四回、毎日やつ
ていますが、前記したような見
解を頂くまで腎機能が回復して
きました。今後も手を抜かずによ
り治療を続けていきます。と、一番変化のあったのは尿
量で、退院直後は100cc以下であつ
たのが、今では1500cc以上の尿量
があります。入院直後から今年
の10月30日までの主な検査項目
の結果を表にしましたが、クレ
アチニンは入院直後16.4だったの
が、10月30日の検査で4.2まで下
がりました。尿素窒素は120から
41まで下がっています。更に赤
血球数は正常値まで回復しまし
た。そして腹膜透析液の排液が
以前よりもかなり透明度が増し
ています。また検査の結果の数
字が出てこない部分でも、体の
だるさ重さが退院直後から比べ
ればかなり改善され、10月中旬
頃より、尿に色と臭いがついて
くるようになり、仕事をする体
力も徐々に戻りつつあります。
光線治療開始以来、何度も宇
都宮光明先生に医療相談の時間
を頂き、経過を報告してきた折
に、「今後の検査の結果次第で
は腹膜透析を中断して様子を見
て良い段階まで来ているのでは」
との意見を頂きました。アチニンは入院直後16.4だったの
が、10月30日の検査で4.2まで下
がりました。尿素窒素は120から
41まで下がっています。更に赤
血球数は正常値まで回復しまし
た。そして腹膜透析液の排液が
以前よりもかなり透明度が増し
ています。また検査の結果の数
字が出てこない部分でも、体の
だるさ重さが退院直後から比べ
ればかなり改善され、10月中旬
頃より、尿に色と臭いがついて
くるようになり、仕事をする体
力も徐々に戻りつつあります。根気よく光線治療を続けていく
つもりです。そして次回は透析
用のチューブを外したと報告で
きるよう頑張ります。

追伸

サンモア光線治療を始めてか
らのうれしい誤算として、毎年
5月中旬から6月いっぱいにか
けて、ブタクサの花粉による喘
息のような発作に悩まされてき
ましたが、今年は花粉症のよう
な症状が出ませんでした。また
透析をしていれば、体に尋麻疹
のようなものが出ると入院中に
言われましたが全く出ていません。

みちのく光線療法研究所

青森県八戸市石堂2-8-15

TEL (0178) 29-3570

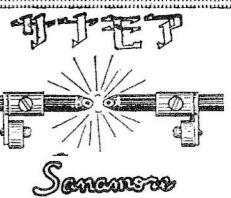
サンモア体験記募集

サンモアの効果は体験し
ないといじられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものはありません。
ついては体験記をお送りく
ださいますよう、お願ひい
たします。

(本紙の無断転用を禁止します。)

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。
TEL 03-3793-5518
（三七一二一五三二二）〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サンモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

サンモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命
力を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサンモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。サンモア光線協会は、サンモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙「健康と光線」の発行。
二、サンモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サンモア光線協会
趣意書